
「雨」 ～ 日雑小説 ～

ひな

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「雨」 ～日雛小説～

【Nコード】

N4663K

【作者名】

ひな

【あらすじ】

雨・・・

雨がやまない・・・

心の雨がやまない・・・

-これは藍染の反乱から数年後のお話。

ザアアアアア・・・。

「うわぁっ！雨降ってきちゃった。

どうしよう・・・かさ持ってきてないのに。」

仕事が終わりに、隊舎に戻る途中の雑森を突然

大粒の雨が襲った。

「しばらくここで雨宿りしよう・・・。」

雑森は近くにあった松の木の下にしゃがみ込んだ・・・。

だが雨宿りといっても葉と葉の間から

冷たい雨が降り注ぐ・・・。

「うう・・・こんなだったらさっさと仕事終わらせて

隊舎に帰ればよかった・・・ハ、クシユン。」

すでに死覇装は全身雨でびしょぬれだった。

どんどん体温が下がっていく・・・。

「寒いよお……ひゃっ!？」

ばあっ。

急に雛森の視界が白いものに覆われた。

「ぶはっ!……なにこれ?……ってシロちゃん!！」

大粒の雨の中、雛森の目の前に

いつのまにか立っていたのは彼女の幼馴染であり

十番隊隊長である日番田冬獅郎だった。

「シロちゃんって呼ぶのはやめろ!……たく帰るぞ。」

「あっ!待ってよシロちゃん!

……っていつかこの羽織!！」

「着てる……。」

「だ、だめだよ!これは隊長さんしか……!」

そういつた瞬間無理やり日番谷に羽織を

かぶせられる……。

「いいから着てる……風邪ひくぞ。」

「……………うん……ありがとう。」

日番谷が持ってきた小さな傘の中に2人で

一緒に入る…………。

そうして歩いてるうちに雨が止んできた…………。

「あっ！雨止んできたみたいだよ。」

……………つてひゃあっ！！！！」

雨が止んできたと同時に調子にのって傘の中から

とびだした雛森が雨でぬかるんだ地面に

足をすべらせていきおいよく顔から地面に転ぶ…………！！

「……………あぶねえ！！！！」

とっさに日番谷が傘から手を離し、転びそうになってる

雛森を正面から抱きしめる…………！！

「…たく……………気をつけろよ。」

「うん……………ごめ……………！！！！」

雛森の体が急に震えだす。

「雛森？寒いのか・・・？」

・・・だがそれが寒さに震えてるわけではないことに

日番谷はすぐに気づいた・・・。

思いだしてるんだ・・・藍染に刺されたときのことを・・・。

こうやって正面から抱きしめられ・・・

冷たい刃で刺されたことを・・・。

「雛森・・・。」

日番谷が言葉をつまらせていると

「・・・ねえシロちゃん・・・約束して・・・絶対に・・・

私のこと・・・裏切らないって・・・。」

うつむきながら涙を流す雛森に日番谷は・・・

「・・・。。。」

「シロちゃん・・・？」

雛森が顔を上げて不安そうな顔で日番谷を見る・・・。

そんな雛森の頭を日番谷がたたく。

ぺしっ！

「いったーい！なにをするのシロちゃん！ー！」

「ばーか。．．．お前があたり前なこと約束して

なんて急に言うからだ．．．。」

「へ．．．？あたり前なことって．．．。」

「俺がお前を裏切るかよ！つまんねえこと

いってんじゃねえよ！ほらいくぞー！」

「あっ！待ってよー！ー！」

再び．．．雛森と日番谷は歩きだした．．．。

雨上がりの道を．．．。

・ E N D ・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4663k/>

「雨」 ～日雑小説～

2010年11月16日11時20分発行